



設置要領

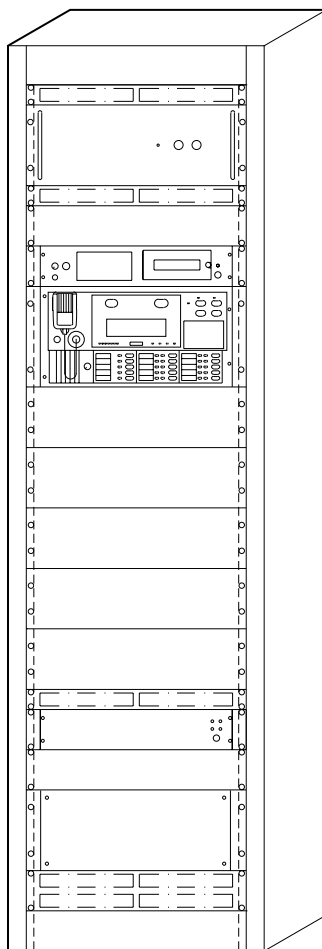
工事・基本編（別冊）

工事・応用編（別冊）

書き込み編

キャビネットラック型非常用放送設備

型名 FS-971



書き込んだ内容は、約5日間保持します。（停電時）

書き込み作業の前に、データの初期化（不必要なデータを消去する）をお奨めします。

TOA 株式会社

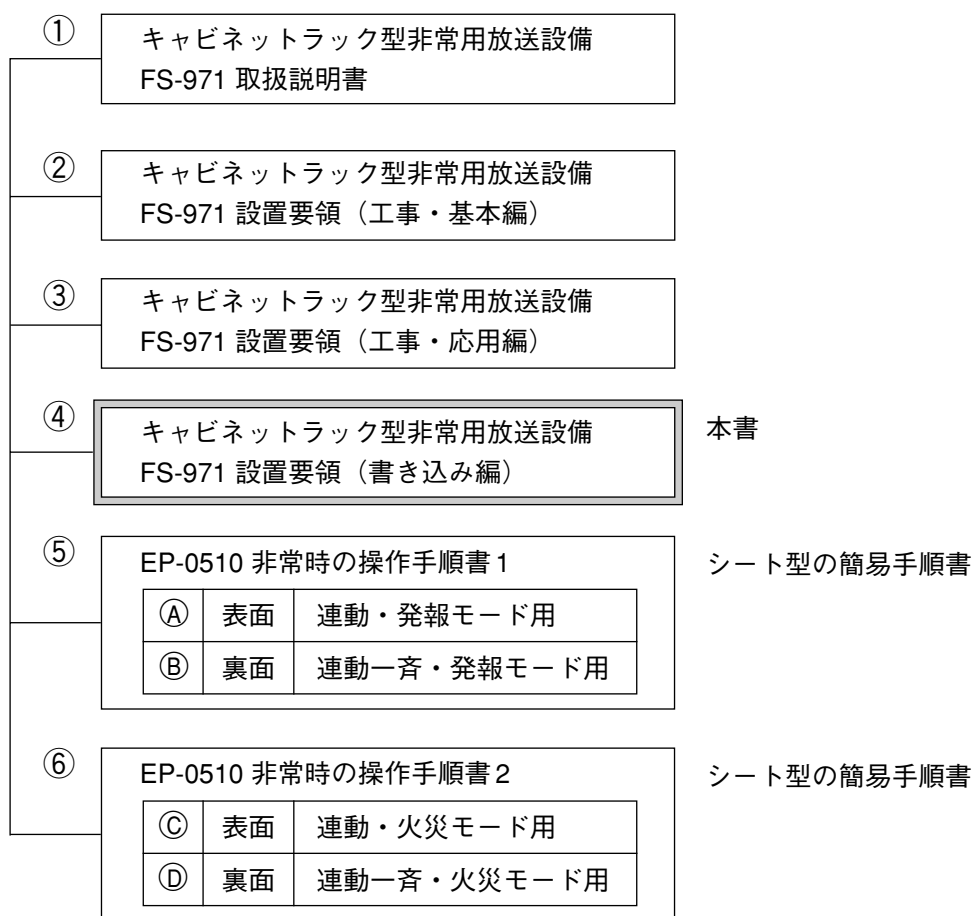
目次

付属説明書の構成	4
設置工事と書き込み	5
書き込みキーの使用方法	
書き込みキー	6
書き込みキーの使用方法	7
メニュー構成	9
データの初期化と初期値	
データの初期化	10
データの初期値	11
総合メニューとパスワード	
書き込みを始めると	13
パスワード入力	13
総合メニューの内容	13
環境設定	
増設パネルの設定	14
増設操作パネルの設定	15
増設ジャンクションパネルの設定	16
放送階選択スイッチの設定	17
放送階選択スイッチ種別の設定	18
放送階選択スイッチ対スピーカ回線の設定	19
リモコンの設定	20
予備制御端子の設定	21
プリアンプパネル PP-025C の設定	21
マトリックスの設定	
入出力数の設定	22
入力機器の設定	23
出力回線の設定	24
非常放送設定	25
非常系統の設定（スイッチ）	26
非常系統の設定（自火報）	27
連動系統の設定	29
自動設定（標準）	30
自動設定（直上系統）	31
手動設定	32

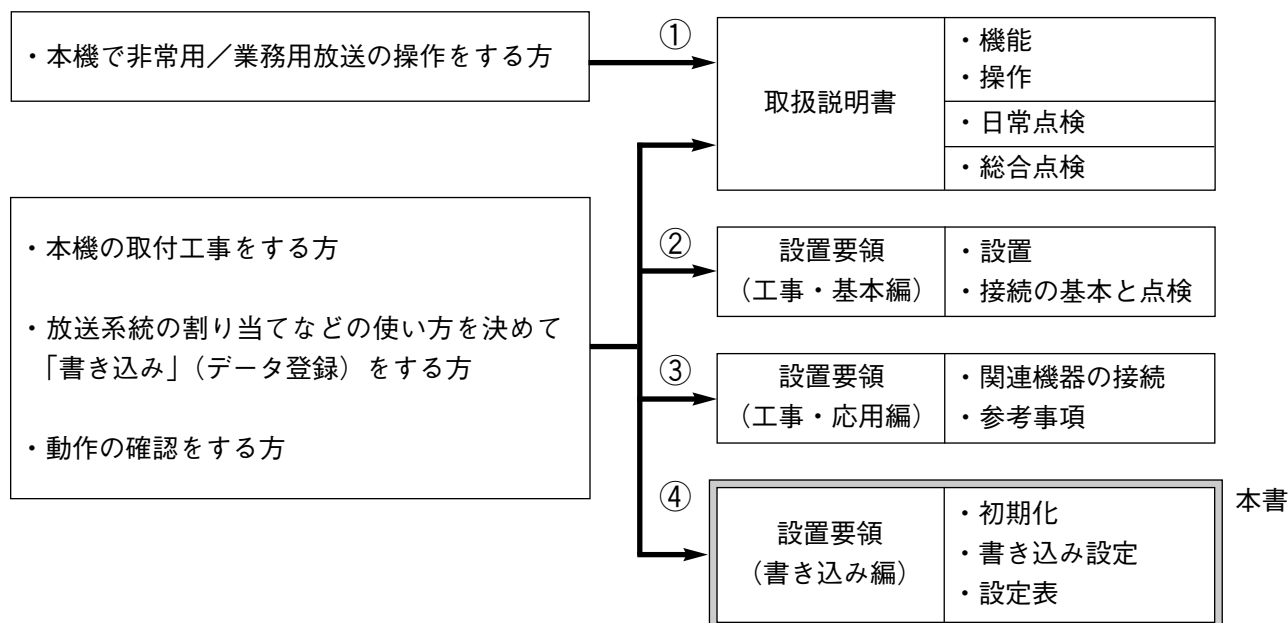
業務放送設定	33
選択スイッチの設定	34
20局業務リモコン RM-1200 の設定	35
20局業務リモコン RM-1200 アドレスの設定	36
20局業務リモコン RM-1200 グループ放送の設定	37
20局業務リモコン RM-1200 緊急放送の設定	37
予備制御設定	
グループ放送の設定	38
緊急放送の設定	38
チャイム連動の設定	39
タイマ設定	
グループ放送の設定	39
緊急放送の設定	39
優先設定	
優先有無の設定	40
優先レベルの設定	41
同一レベル内優先モードの設定	41
緊急制御設定	41
データ転送	
通信処理	42
カード処理	44
動作履歴	
履歴保存	46
履歴確認	46
履歴読み出し	47
履歴消去	48
時刻設定	48
通信出力	48
終了処理	
パスワード登録	49
設定表	
設定表の種類と記入事項	51
設定表の記入方法	52

付属説明書の構成

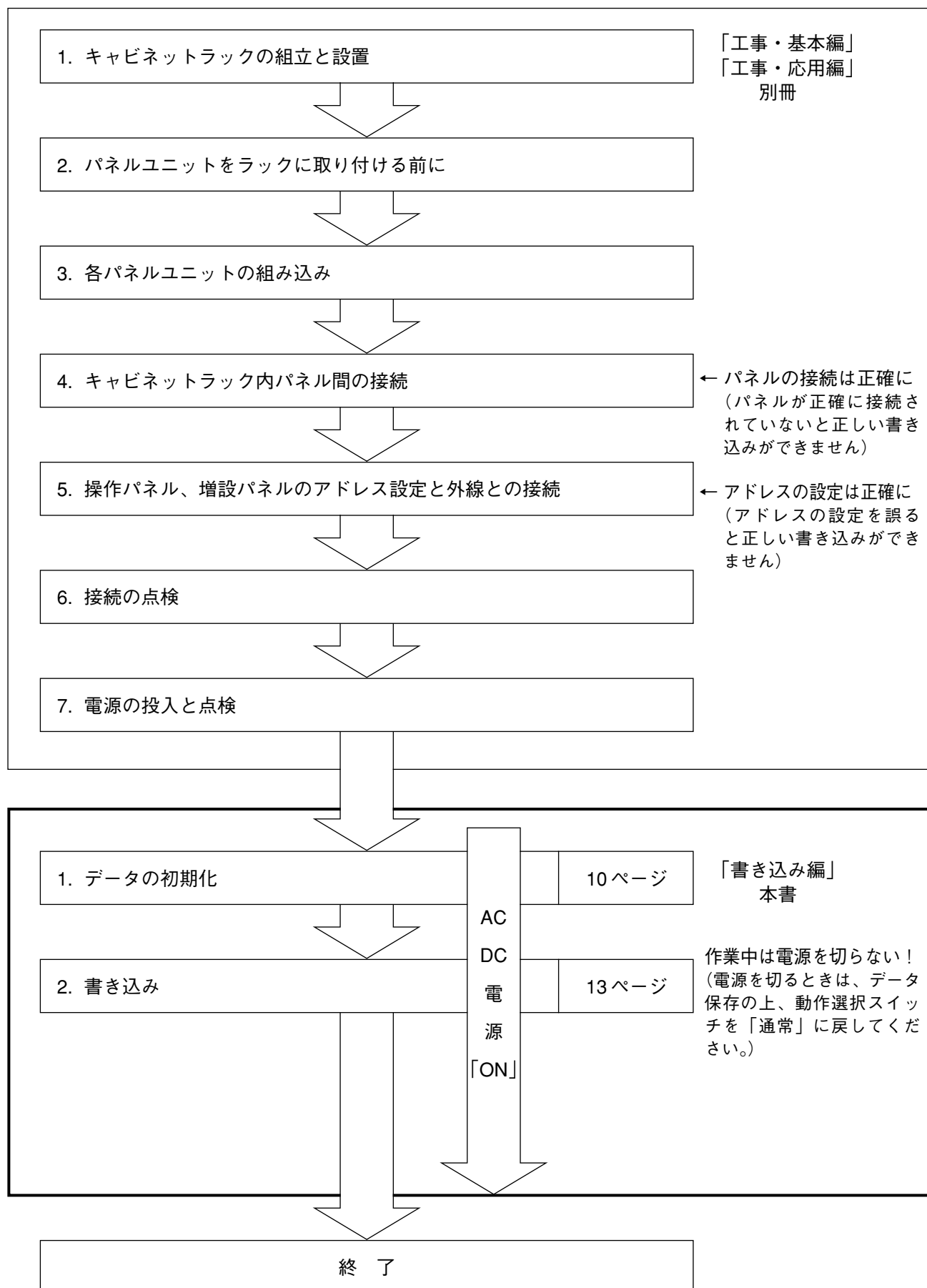
この機器には次の説明書が付属しています。



- 本機が使われる建物により、決定済みの非常放送モードを ⑤ ⑥ の手順書の ① ② ③ ④ から選んでお読みください。（① がいちばん基本的なモードです。）
- お客様の目的により必要な説明書をお読みください。



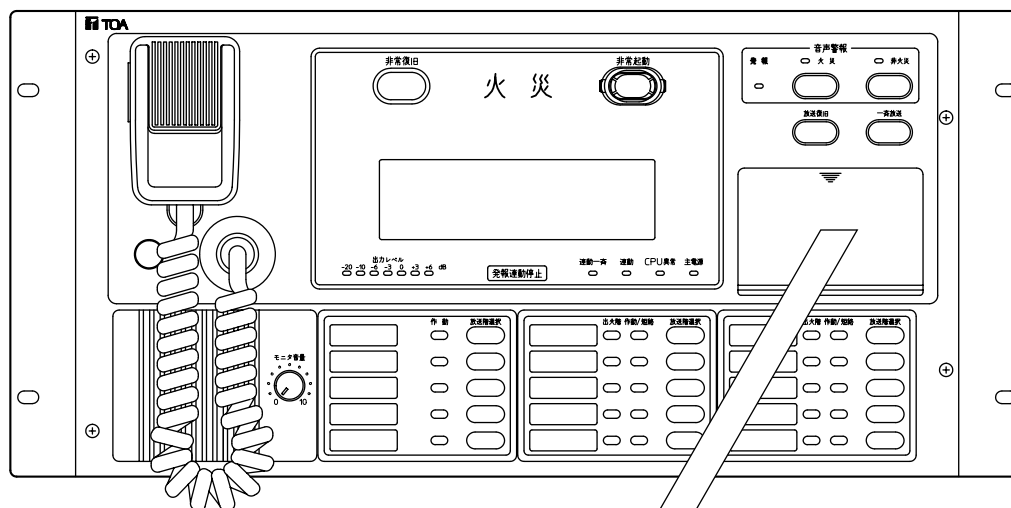
設置工事と書き込み



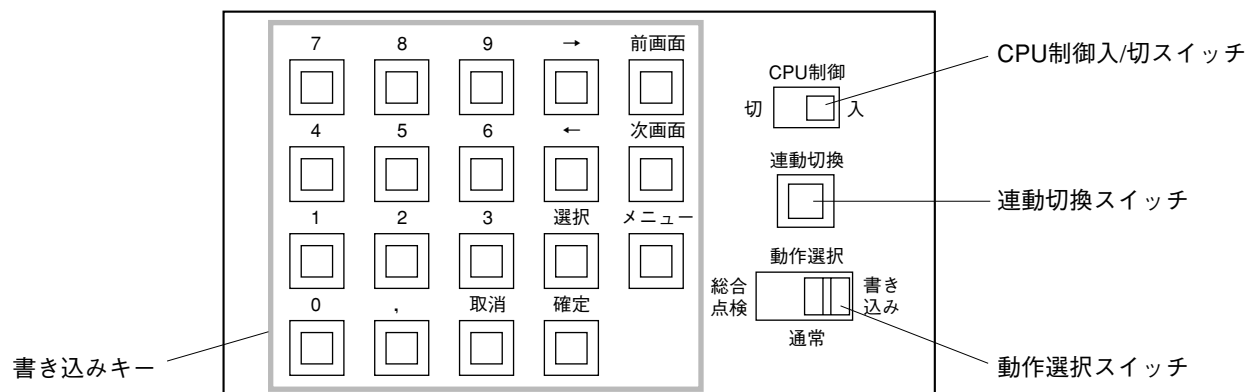
書き込みキーの使用方法

書き込みキー

非常業務兼用操作パネル EP-0510



CPU制御部および書き込み操作部



■ 書き込みキーの使用方法

● 処理選択画面での使用方法

右図は一般的な処理選択画面です。
処理選択画面ではすべて下記の通りのキー操作となります。

次ページからの同様なキー操作についてはキーの使用方の説明は省略します。

リバース

□□□□□
処理番号？

1 □□□□□

2 □□□□□

3 □□□□□

4 □□□□□

5 □□□□□

6 □□□□□

数字キー（1～）	数字キー番号と同じ処理に移ります。
「選択」キー	リバース位置が番号の大きい方に移動します。
「→」キー	リバース位置が番号の大きい方に移動します。
「←」キー	リバース位置が番号の小さい方に移動します。
「確定」キー	リバース位置の処理に移ります。
「次画面」キー	リバース位置の処理に移ります。
「前画面」キー	一つ前の画面に戻ります。
「メニュー」キー	一つ前の処理選択画面に戻ります。

● 登録選択画面での使用方法

右図は一般的な登録選択画面です。
登録選択画面ではすべて下記の通りのキー操作となります。

次ページからの同様なキー操作についてはキーの使用方の説明は省略します。

リバース

□□□□□
スイッチ番号 0 0 1

1 □□□□□

2 □□□□□

3 □□□□□

4 □□□□□

数字キー（1～）	数字キー番号と同じ項目の登録を行い、スイッチ番号等を次に進めます。 スイッチ番号等が最終のときは、このメニューは終了します。
「選択」キー	リバース位置が番号の大きい方に移動します。
「→」キー	リバース位置が番号の大きい方に移動します。
「←」キー	リバース位置が番号の小さい方に移動します。
「確定」キー	リバース位置の項目の登録を行い、スイッチ番号等を次に進めます。 スイッチ番号等が最終のときは、このメニューは終了します。
「次画面」キー	登録は行わず、スイッチ番号等を次に進めます。 スイッチ番号等が最終のときは、このメニューは終了します。
「前画面」キー	登録は行わず、スイッチ番号等を前に戻します。 スイッチ番号等が最初のときは、このメニューは終了します。
「メニュー」キー	一つ前の処理選択画面に戻ります。

● 数値登録画面での使用方法

右図は一般的な数値登録画面です。

数値登録画面では、すべて下記の通りのキー操作となります。

次ページからの同様なキー操作については、キーの使用
方法の説明は省略します。

リバーズ

□□□□□

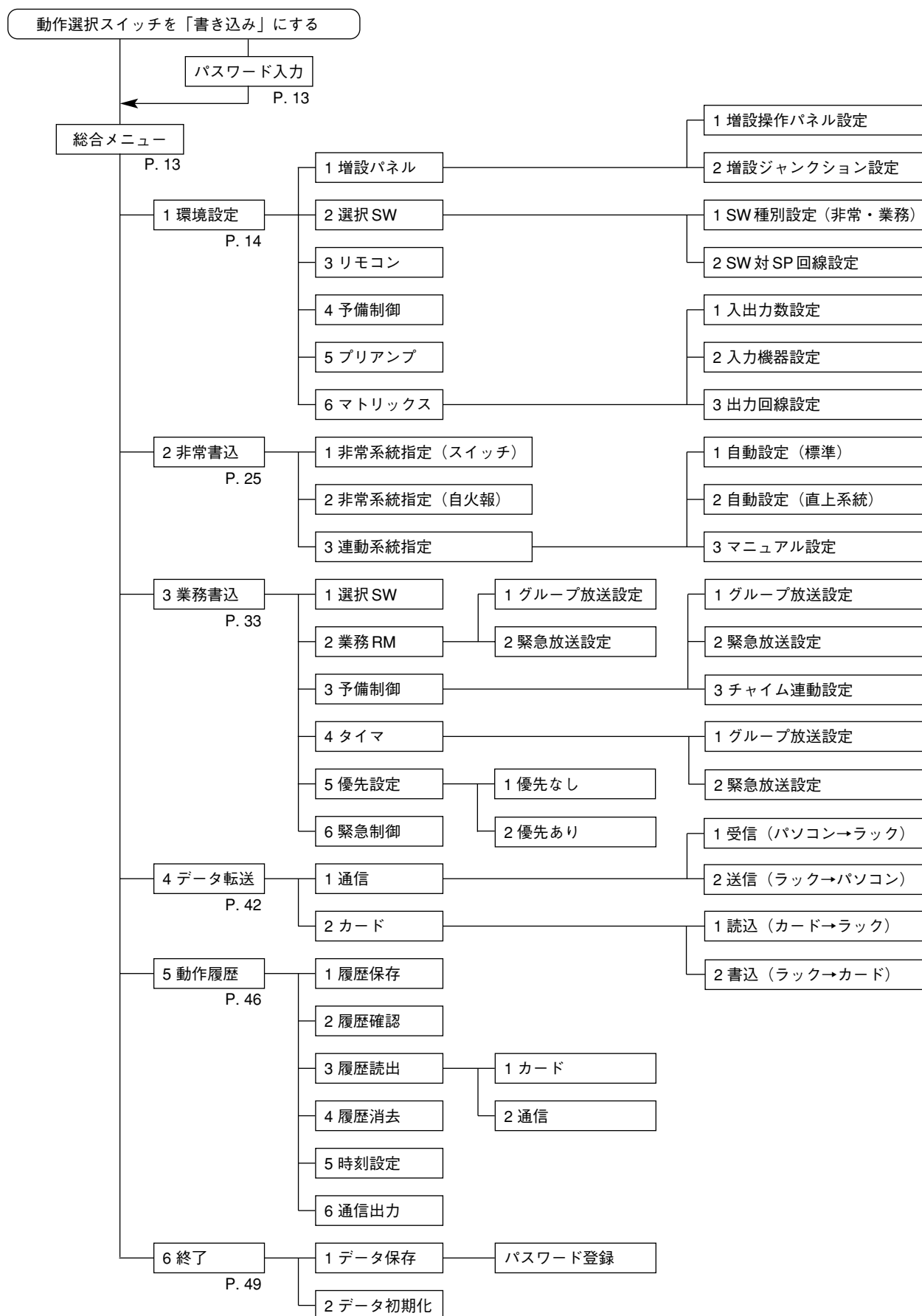
スイッチ番号 0 0 1

S P 回線番号 0 0 1

登録数 0 0 1

数字キー（1～）	リバーズ位置に数字キーで設定する回線番号等を入力します。
「選択」キー 「→」キー	登録済みのリバーズ位置の番号を昇順で表示します。 続けて押せば最初から表示されます。
「←」キー	登録済みのリバーズ位置の番号を降順で表示します。 続けて押せば最後から表示されます。
「確定」キー	リバーズ位置の番号の登録を行います。
「次画面」キー	登録は行わず、スイッチ番号等を次に進めます。 スイッチ番号等が最終のときは、このメニューは終了します。
「前画面」キー	登録は行わず、スイッチ番号等を前に戻します。 スイッチ番号等が最初のときは、このメニューは終了します。
「取消」キー	リバーズ位置に数値入力したときは、その入力を取り消します。 入力していないときは、表示されている数値を登録削除します。
「メニュー」キー	一つ前の処理選択画面に戻ります。

メニュー構成



データの初期化と初期値

■ データの初期化

1. CPUスイッチを「入」にします。
2. 動作選択スイッチを「書き込み」にして液晶画面に総合メニュー画面を表示させます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

3. **[6]**キー（終了）を押して、右図の画面を表示させます。

書込終了処理	処理番号？
1 データ保存	
2 データ初期化	

4. 「確定キー」を押します。

設定データを初期化します。よろしいですか？	
実行	確定キー
中止	その他キー

データ初期化
設定データを初期化中です。
しばらくお待ちください。

5. 動作選択スイッチを「通常」にもどします。

動作選択スイッチを
[通常] にしてください。

■ データの初期値

設定データの初期値は以下のとおりに設定されています。

設定データ		初期値
増設操作パネル		すべて無接続、接続台数 0 台
増設ジャンクションパネル		すべて無接続、接続台数 0 台
個別放送階選択スイッチ種別		すべて非常・業務兼用
グループ選択スイッチ種別		すべて業務
放送階選択 スイッチ	グループスイッチ	グループ 1 が回線 1, グループ 2 が回線 2, ..., グループ 5 が回線 5
	個別放送階選択スイッチ	スイッチ 1 が回線 1, スイッチ 2 が回線 2, ..., スイッチ 330 が回線 330
リモコン台数	非常業務兼用遠隔操作器	0 台
	20 局業務リモコン	0 台
予備制御端子		無接続
プリアンプ設定		すべての機種に対してカットなし
マトリックス入出力数		入力数 0, 出力数 0, 接続台数 0 台
マトリックス入力機器		本体、非常・業務遠隔操作器が音声入力 1, 他の機器が音声入力 2 に接続
マトリックス音声出力		すべてのスピーカ回線が音声出力 1 に接続
個別放送階選択スイッチ非常系統		スイッチ 1 ～ 10 : 非常系統 1 ～ 10 スイッチ 11 ～ : 設定なし
自火報端子非常系統		自火報端子 1 ～ 10 : 非常系統 1 ～ 10 自火報端子 11 ～ : 設定なし
自火報端子階情報		自火報端子 1 が 1F, 自火報端子 2 が 2F, ..., 自火報端子 10 が 10F
出火系統の連動系統		非常系統 1 → 非常系統 2, 非常系統 2 → 非常系統 3, 非常系統 3 → 非常系統 4, ..., 非常系統 9 → 非常系統 10 非常系統 10 → なし
本体回線選択スイッチ 緊急設定	グループスイッチ	緊急設定なし
	階選択スイッチ	緊急設定なし
20 局業務リモコンの 接続スピーカ回線	一斉選択スイッチ	1 ～ 330 のすべてのスピーカ回線を接続
	グループスイッチ	A1 が回線 1, A2 が回線 2, ..., A 0 が回線 10, B1 ～ B0 は接続なし
20 局業務リモコンの 緊急設定	一斉選択スイッチ	緊急設定なし
	グループスイッチ	緊急設定なし
予備制御端子の接続回線		予備制御端子 1 が回線 1, 予備制御端子 2 が回線 2, ..., 予備制御端子 10 が回線 10 予備制御端子 11 ～ 15 は接続なし
予備制御端子の緊急設定		すべての端子について緊急設定なし
予備制御端子のチャイム連動設定		チャイム連動なし

設定データ		初期値
タイマ端子の接続回線		タイマ端子1, 2ともに1～330のすべてのスピーカ回線を接続
タイマ端子の緊急設定		タイマ端子1, 2ともに緊急設定なし
業務放送優先		優先あり
機器ごとの優先レベル	タイマ	レベル1
	本体	レベル2
	非常RM	レベル3
	20局業務RM	レベル4
	業務RM（特）	レベル4
	電話ページング	レベル5
	BGM	レベル6
優先レベルごとの優先モード		すべて優先なし
緊急制御端子の接続回線		緊急制御端子に1～330のすべてのスピーカ回線を接続
動作履歴保存		保存する
通信出力		出力しない
パスワード		パスワード設定なし

総合メニューとパスワード

■ 書き込みを始めると

書き込みを開始したときには、編集する内容を選択するための総合メニューが表示されます。

総合メニューが表示されずに、パスワード入力の液晶画面が表示された場合は、不用意な設定の変更によるシステムの誤動作を防ぐためにパスワードが設定されています。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

パスワードを入力してください。

パスワード？ ■

■ パスワード入力

パスワードは数字キー（0～9）を押して、最後に「確定」キーを押すことにより入力できます。

パスワードが正しく入力されれば、続けて書き込みが行えるようになり、総合メニューが表示されます。

誤ったパスワードが入力された場合は、エラー音（ピー）が出力されて、再びパスワードの入力を待つ状態になります。

数字キーが押され数字が入力された場合は、数字そのものではなく「*」が表示されます。

パスワードは5桁の数字です。

パスワードを入力してください。

パスワード？

* * * * *

■ 総合メニューの内容

1 環境設定	非常・業務放送に関係なく放送システムの機器構成の設定を行います。
2 非常書込	非常放送で使用する放送階選択スイッチ、自火報階別信号端子により、選択されるスピーカ回線（放送階）の設定を行います。
3 業務書込	業務放送で使用する機器の優先、緊急、選択、スピーカ回線の設定を行います。
4 データ転送	メモリーカードや RS-232C 端子を使用してパーソナルコンピュータとの間で設定データの転送を行います。
5 動作履歴	機器の動作内容を記録するための設定とその内容の確認を行います。
6 終了	設定データの書き込みを終了して、放送設備として通常の動作に戻ります。

処理番号を選んでください。



：[1]～[6]キーを押すと、その処理に入ります。

■ ご注意

- 最初に書き込みを行うときは、必ず「環境設定」から行ってください。
- 「書き込み」を終了するときは、必ず「終了」のメニューを選択してください。

環境設定

総合メニューの「1 環境設定」を選びます。

※ 環境設定は、非常・業務放送の内容に関わりなく共通に使用するデータですので、必ずこの設定から開始してください。

処理番号を選んでください。



：[1]～[6]キーを押すと、その処理に入ります。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

環境設定	処理番号？
1 増設パネル	2 選択 SW
3 リモコン	4 予備制御
5 プリアンプ	6 マトリックス

設定項目

1 増設パネル	接続された増設操作パネル EP-029、増設ジャンクションパネル JP-039 の種類などの設定を行います。 増設パネルが接続されていなければ設定は不要です。
2 選択 SW	放送階選択スイッチの用途（非常専用、業務専用、非常・業務兼用、または BGM 放送用）の設定を行います。なお、この設定の対象となるスイッチは、非常業務兼用操作パネル EP-0510 と「増設操作パネル設定」のメニューで設定された増設操作パネル EP-029 の放送階選択スイッチです。
3 リモコン	非常業務兼用遠隔操作器と 20 局シリアル業務リモコン RM-1200 の台数設定を行います。
4 予備制御	ジャンクションパネル JP-0410 の予備制御端子の用途（業務リモコン（特）、電話ベージング、BGM）を設定します。
5 プリアンプ	プリアンプパネル PP-025C の外部制御（入力 2/3 カット、入力 3 カット）の設定を行います。
6 マトリックス	マトリックスパネルの台数、入力、出力とそれらの接続の設定を行います。

■ 増設パネルの設定

環境設定メニューの「1 増設パネル」を選びます。

「1 増設パネル」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

処理番号を選んでください。



：[1]キーで「増設操作パネル設定」へ、[2]キーで「増設ジャンクション設定」へ進みます。

増設パネル設定	処理番号？
1 増設操作パネル設定	
2 増設ジャンクション設定	

設定項目

1 増設操作パネル設定	接続された増設操作パネル EP-029 の種類などの設定を行います。 増設操作パネルが接続されていなければ設定は不要です。
2 増設ジャンクション設定	接続された増設ジャンクションパネル JP-039 の種類などの設定を行います。 増設ジャンクションパネルが接続されていなければ設定は不要です。

● 増設操作パネルの設定

「1 増設操作パネル設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

増設操作パネル設定
E P - 0 2 9 アドレス 0
S W 番号
① 無接続 ② 10局 ③ 20局

本体ラックに収納する増設パネルをアドレスごとに設定します。

S W 番号は参考のために表示されます。

アド レス	増設局数		アド レス	増設局数	
	10局	20局		10局	20局
0	11-20	11-30	8	171-180	171-190
1	31-40	31-50	9	191-200	191-210
2	51-60	51-70	A	211-220	211-230
3	71-80	71-90	B	231-240	231-250
4	91-100	91-110	C	251-260	251-270
5	111-120	111-130	D	271-280	271-290
6	131-140	131-150	E	291-300	291-310
7	151-160	151-170	F	311-320	311-330

増設されるスイッチ番号



：[2]または[3]キーで、EP-029の2台目（EP-029アドレス1）の設定へ進みます。

設定項目

① 無接続	指定アドレスに増設操作パネルEP-029が接続されていないときに設定します。 「無接続」を設定すると次のアドレス番号は表示されません。
② 10局	指定アドレスが10局増設操作パネルEP-029-10のときに設定します。
③ 20局	指定アドレスが20局増設操作パネルEP-029-20のときに設定します。

● 増設ジャンクションパネルの設定

「2 増設ジャンクション設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

本体ラックに収納する増設ジャンクションパネルをアドレスごとに設定します。

回線番号は参考のために表示されます。

増設ジャンクション設定 JP-039 アドレス 0 回線番号 ① 無接続 ② 10 局 ③ 20 局



：②または③キーで、JP-039 の2 台目（JP-039 アドレス 1）の設定へ進みます。

設定項目

① 無接続	指定アドレスに増設ジャンクションパネル JP-039 が接続されていないときに設定します。 「無接続」を設定すると次のアドレス番号は表示されません。
② 10 局	指定アドレスが 10 局増設ジャンクションパネル JP-039-10 のときに設定します。
③ 20 局	指定アドレスが 20 局増設ジャンクションパネル JP-039-20 のときに設定します。

■ 放送階選択スイッチの設定

環境設定メニューの「2 選択 SW」を選びます。

「2 選択 SW」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

※ 初期値はスイッチ種別「非常・業務」、スイッチ対スピーカ回線は1対1で設定されています。

放送階選択スイッチ設定

- 1 SW種別設定 (非常・業務)
- 2 SW対SP回線設定

設定項目

1 SW 種別設定 (非常・業務)	個別放送階選択スイッチ (1～最大 330) の種別 (非常・業務兼用、業務専用、非常専用、BGM 放送用) の設定を行います。
2 SW 対 SP 回線設定	個別放送階選択スイッチ (1～最大 330) に対するスピーカ回線 (1～最大 330) の設定を行います。

ご注意

各設定メニューで表示されるスイッチ番号と回線番号は、環境設定の「増設パネルの設定」(P. 14)により制限されます。

なお、スイッチ番号および回線番号の1～10は、非常業務兼用操作パネルEP-0510、ジャンクションパネルJP-0410に該当するため常に表示・設定が可能です。

[例] 増設操作パネル

- アドレス0 10局 (EP-029-10) …スイッチ番号11～20 (10局のため21～30は表示されません。)
- アドレス1 20局 (EP-029-20) …スイッチ番号31～50
- アドレス2 10局 (EP-029-10) …スイッチ番号51～60 (10局のため61～70は表示されません。)
- アドレス3 20局 (EP-029-20) …スイッチ番号71～90

増設ジャンクションパネル

- アドレス0 20局 (JP-039-10) …回線番号11～30
- アドレス1 20局 (JP-039-20) …回線番号31～50
- アドレス2 10局 (JP-039-10) …回線番号51～60 (10局のため61～70は表示されません。)
- アドレス3 10局 (JP-039-10) …回線番号71～80 (10局のため81～90は表示されません。)
- アドレス4 20局 (JP-039-20) …回線番号91～110

● 放送階選択スイッチ種別の設定

「1 SW 種別設定（非常・業務）」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

グループ選択スイッチの種別を設定してください。

続いて、右のように放送階選択スイッチの設定が表示されます。

放送階選択スイッチの種別を設定してください。

放送階選択スイッチ種別設定
SW番号 グループ 1
2 **業務**
4 BGM

放送階選択スイッチ種別設定
SW番号 1
1 **非常・業務** 2 業務
3 非常 4 BGM

※ 初期状態では、グループ選択スイッチは「2 業務」に、放送階選択スイッチは「1 非常・業務」に設定されています。

設定項目

1 非常・業務	放送階選択スイッチを非常放送と業務放送で使用可能にします。
2 業務	グループ選択スイッチと放送階選択スイッチを業務放送に限り使用可能にします。
3 非常	放送階選択スイッチを非常放送に限り使用可能にします。
4 BGM	グループ選択スイッチと放送階選択スイッチを本体 BGM 放送に限り使用可能にします。



： **1**、**2**、**3**、または **4** キーで、次の SW 番号の設定へ進みます。

重 要

- 「非常書込」(P. 25) を行わないと、増設操作パネル EP-029-10/-20 では「1 非常・業務」を選択していても「2 業務」設定となります。
- グループ選択スイッチまたは放送階選択スイッチによる BGM 放送の優先レベルは、予備制御 (BGM) で設定した優先レベルと同じになります。(P. 41)

● 放送階選択スイッチ対スピーカ回線の設定

「2 SW 対 SP 回線設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。


SW対SP回線設定	
選択SW番号	グループ1
SP回線番号	001
登録数	001

グループ選択スイッチまたは放送階選択スイッチを押したとき、どのスピーカ回線を接続するかを設定してください。
どのスイッチも、設定のあるすべてのスピーカ回線を設定することができます。

設定項目

SP 回線番号	グループ選択スイッチまたは放送階選択スイッチを押したとき、どのスピーカ回線を接続するかを設定します。
---------	--

グループ選択スイッチ1～5の設定が終わると、放送階選択スイッチの設定へ進みます。

 : **次画面** キーで、次のスイッチの設定へ進みます。

その他

登録数	選択スイッチに対するスピーカ回線の登録数を表示します。
-----	-----------------------------

■ リモコンの設定

環境設定メニューの「3 リモコン」を選びます。

「3 リモコン」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

非常・業務遠隔操作器と業務リモコンの接続台数を設定してください。


リモコン設定	
非常・業務遠隔操作器	0 台
20局業務リモコン	0 台

設定項目

非常・業務遠隔操作器	台数	非常業務兼用遠隔操作器（RM-970 シリーズまたは RM-976）の接続台数を設定します。 最大接続台数は 8 台です。
20局業務リモコン	台数	20局業務リモコン RM-1200 の接続台数を設定します。 最大接続台数は 8 台です。

使用するキー

「選択」、「→」、 「←」キー	リバーズ位置を非常業務兼用遠隔操作器、20局業務リモコンに交互に移動します。
「確定」キー	表示されている接続台数を登録し、環境設定メニューへ移ります。
「数字（0～8）」キー	接続台数を入力します。
「次画面」キー	環境設定メニューに移ります。
「前画面」キー 「メニュー」キー	環境設定メニューに移ります。

：（非常業務兼用遠隔操作器 3 台、20 局業務リモコン 4 台の場合）
上記画面の状態から **3**、**→**、**4**、**確定** キーを押します。

ご注意

非常業務兼用遠隔操作器と業務リモコンにはアドレス番号設定スイッチがありますので、アドレス番号を必ず「0」から順番に設定してください。

（アドレス設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。）

【例】非常業務兼用遠隔操作器が 3 台のとき

- 1 台目…アドレス番号 0
- 2 台目…アドレス番号 1
- 3 台目…アドレス番号 2

■ 予備制御端子の設定

環境設定メニューの「4 予備制御」を選びます。

「4 予備制御」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

予備制御端子はジャンクションパネル前面に 15 端子あり、各種の機器を接続するための設定を行います。

予備制御端子設定
予備制御 1
1 無接続 2 業務RM (特)
3 電話ページング 4 BGM

設定項目

1 無接続	予備制御端子に何も接続しないときは、必ず「無接続」に設定してください。
2 業務RM (特)	個別制御線を有する業務リモコンを接続するときに設定します。
3 電話ページング	電話などの電子交換機と接続し、電話などから呼び出し放送をするときに設定します。
4 BGM	BGM 演奏装置のビジー (放送中) 端子と接続し、BGM 放送の回線選択を行うときに設定します。

■ プリアンプパネル PP-025C の設定

環境設定メニューの「5 プリアンプ」を選びます。

「5 プリアンプ」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

各機器ごとに起動時の処理を設定してください。
設定機器の順序は次のようになります。

プリアンプ設定
タイマー起動時
1 入力2 / 3 カット
2 入力3 カット 3 カットなし

タイマー→本体→非常リモコン→業務リモコン→電話ページング→業務緊急制御

設定項目

1 入力2/3 カット	設定機器が起動したとき、プリアンプの入力2と入力3の信号がカットされます。
2 入力3 カット	設定機器が起動したとき、プリアンプの入力3の信号がカットされます。
3 カットなし	設定機器が起動したとき、プリアンプの信号はカットされません。

ご注意

- 「本体」とは本体ラックの一斉、グループ、個別などのスイッチで起動した場合です。
- 「リモコン設定」で非常・業務遠隔操作器の台数を0に設定したときは「非常リモコン」の表示は行われません。
- 「リモコン設定」で業務リモコンの台数を0に設定したときは「業務リモコン」の表示は行われません。
- 「予備制御設定」で電話ページングの設定を行っていないときは「電話ページング」の表示は行われません。

■ マトリックスの設定

環境設定メニューの「6 マトリックス」を選びます。

「6 マトリックス」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

入力マトリックスパネル IM-011 が接続されているときに、入力マトリックスパネルの入出力構成、各機器の入力マトリックスパネルへの接続及び入力マトリックスパネルからスピーカ回線への接続の設定をします。

マトリックス設定 処理番号？
1 **入出力数設定**
2 入力機器設定
3 出力回線設定

● 入出力数の設定

接続されている入力マトリックスパネルの入出力構成を設定します。

出力数 入力数	4	8	12	16
4	○	○	○	○
8	○	○	○	○
12	○	○	×	×
16	○	○	×	×

設定可能な入出力構成

入出力数設定
入力数 **0** 4 8 12 16

入力数設定

最初に入力数を設定し、入力数が確定すると、それに組み合わせ可能な出力数が表示されますので、出力数を設定してください。

入出力数設定
入力数 4
出力数 **4** 8 12 16

出力数設定
(入力数が4の場合)

使用するキー

「選択」、「→」、「←」キー	入力数と出力数のリバーズ位置を移動させます。
「確定」キー	リバーズされている数字を入力数または出力数として登録します。

● 入力機器の設定

どの機器から音声信号が入力マトリックスパネルのどの音声入力へ接続されているかを設定します。業務放送では、この設定をもとに、放送中の機器からの音声が出力されるように入力マトリックスパネルの制御が行われます。ただし、入力数が0と設定された場合は、入力マトリックスパネルが接続されていないと判断するため、この設定は行えません。

入力機器設定
タイマー1
マトリックス入力番号 **02**
MAX 16

入力数設定
(入力数が16の場合)

● 設定を行う端子とスイッチ

タイマ（1、2）	1端子ごとに設定できます。
緊急制御端子	
予備制御端子	
20局業務リモコンRM-1200	アドレスごとに設定できます。
SW種別がBGMに設定されたグループ 選択スイッチと放送階選択スイッチ	各スイッチごとに設定できます。

本体と非常業務兼用遠隔操作器は、必ず音声入力1に接続されている必要があるために設定が行えません。

● 音声入力番号

アドレス	音声入力	入力数			
		4	8	12	16
0	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4
4	1		5	5	5
	2		6	6	6
	3		7	7	7
	4		8	8	8
8	1			9	9
	2			10	10
	3			11	11
	4			12	12
A	1				13
	2				14
	3				15
	4				16

● 出力回線の設定

マトリックスの出力番号に対応するスピーカ出力回線番号を設定します。

どのスピーカ回線が入力マトリックスパネルのどの音声出力へ接続されているかをスピーカ回線5回線ごとに設定します。

業務放送では、この設定をもとに起動のあった機器からの音声が出力へ出るように入力マトリックスパネルの制御が行われます。

出力回線設定			
S P 回線番号	1 ~	5	
マトリックス出力番号		01	
MAX	16		

出力回線設定
(出力数が16の場合)

● 音声出力番号

アドレス	音声出力	出力数			
		4	8	12	16
0	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4
1	1		5	5	5
	2		6	6	6
	3		7	7	7
	4		8	8	8
2	1			9	9
	2			10	10
	3			11	11
	4			12	12
3	1				13
	2				14
	3				15
	4				16

非常放送設定

総合メニューの「2 非常書込」を選びます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

「2 非常書込」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

非常放送で使用する放送階選択スイッチ、自火報階別信号端子により、選択されるスピーカ回線（放送階）を設定します。

非常放送設定	処理番号？
1 非常系統指定（スイッチ）	
2 非常系統指定（自火報）	
3 連動系統指定	

設定する項目を選んでください。

設定項目

1 非常系統指定（スイッチ）	各放送階選択スイッチの非常系統を指定します。
2 非常系統指定（自火報）	自火報の各階別信号端子の非常系統と階情報番号を指定します。
3 連動系統指定	連動階を指定します。



操作：**1**、**2**、または**3**キーで、そのメニュー画面に進みます。

■ 非常系統の設定（スイッチ）

放送階選択スイッチを操作したときに階ごとのスピーカ回線の選択ができるようにするために、各スイッチの非常系統番号を設定します。

非常放送状態で放送階選択スイッチが操作されたときは、この非常系統番号をもとにして、操作されたスイッチと同じ非常系統番号のスイッチがすべて操作されたものとしてスピーカ回線の選択を行います。

非常系統番号は1から330までのいずれかに設定します。

※ 非常系統番号が設定できるスイッチは、放送階選択スイッチで「非常・業務」または「非常」と設定されているスイッチです。

「1 非常系統指定（スイッチ）」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

選択SW非常系統設定


選択SW番号 1

非常系統番号 001

使用するキー

「確定」キー	表示されている非常系統番号を登録し、次のスイッチ（SW）番号に移ります。
「次画面」キー	次のスイッチ（SW）番号に移ります。
「数字（0～9）」キー	非常系統番号を入力します。
「取消」キー	非常系統番号を入力したときは、その番号の取り消しを行い、非常系統番号を入力していないときは登録済みの非常系統番号を削除します。
「メニュー」キー 「前画面」キー	「非常放送設定」メニューに戻ります。

操作



：キー（非常系統番号）、キーで次のSW番号へ進みます。

■ 非常系統の設定（自火報）

自火報端子がメイクしたときに、連動階を含んだスピーカ回線の選択を行い、階情報を含んだ音声警報が出力できるように、非常系統を設定します。

自火報端子がメイクされたときは、この非常系統番号をもとにして、スピーカ回線の選択を行います。音声警報の階情報は、メイクされた自火報端子に設定された階メッセージ番号により選択します。

非常系統番号は1から330までのいずれかに設定します。

階メッセージ番号は1から331までのいずれかに設定します。

「2 非常系統指定（自火報）」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

自火報端子番号に対する非常系統番号を設定してください。

自火報端子非常系統設定	
自火報端子番号	1
非常系統番号	001
階メッセージ番号	001

設定項目

非常系統番号	自火報端子（EL）の非常系統番号を設定します。
階メッセージ番号	自火報端子（EL）の階メッセージ番号を設定します。

使用するキー

「選択」キー 「→」キー 「←」キー	設定する項目（非常系統番号または階メッセージ番号）を選択します。
「確定」キー	表示されている非常系統番号と階メッセージ番号を登録し、次の自火報端子番号に移ります。
「次画面」キー	次の自火報端子番号に移ります。
「数字（0～9）」キー	非常系統番号と階メッセージ番号を入力します。
「取消」キー	非常系統番号または階メッセージ番号を入力したときは、その番号の取り消しを行い、入力していないときは登録済みの番号を削除します。
「メニュー」キー 「前画面」キー	「非常放送設定」メニューに戻ります。

ご注意

使用しない自火報端子はどの非常系統に設定しても構いませんが、「000」で登録した場合は、その端子をメイクしても出火階表示灯は点灯しません。

出荷時の階メッセージ番号と階情報

階メッセージ番号	階情報（〇〇階の、〇〇階で）
0 0 1	地下1階
0 0 2	地下2階
0 0 3	地下3階
0 0 4	地下4階
0 0 5	地下5階
0 0 6	1階
0 0 7	2階
0 0 8	3階
0 0 9	4階
0 1 0	5階
0 1 1	6階
0 1 2	7階
0 1 3	8階
0 1 4	9階
0 1 5	10階
0 1 6	11階
0 1 7	12階
0 1 8	13階
0 1 9	14階
0 2 0	15階
0 2 1	16階
0 2 2	17階
0 2 3	18階
0 2 4	19階
0 2 5	20階
0 2 6	21階
0 2 7	22階
0 2 8	23階
0 2 9	24階
0 3 0	25階

階メッセージ番号	階情報（〇〇階の、〇〇階で）
0 3 1	
0 3 2	
0 3 3	
0 3 4	エレベータ
0 3 5	階段
0 3 6	屋上
0 3 7	塔屋
0 3 8	体育館
0 3 9	講堂
0 4 0	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	
3 3 0	
3 3 1	階情報なし

ご注意 ■部は階情報が入っていません。これらの階メッセージ番号は設定しないでください。
動作が異常になります。

■ 連動系統の設定

自火報端子がメイクされた非常系統（出火系統）に連動して選択される非常系統（連動系統）を設定します。
1つの出火系統に最大329の連動系統を設定できます。

「3 連動系統指定」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統設定	処理番号？
1	自動設定（標準）
2	自動設定（直上系統）
3	マニュアル設定

設定項目

1 自動設定（標準）	自動設定表（標準）の通り連動系統を設定します。
2 自動設定（直上系統）	自動設定表（直上系統）の通り連動系統を設定します。
3 マニュアル設定	手動により連動系統を設定します。

ご注意

下記の場合における連動設定については各自治体で異なる場合があります。
所轄消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。

- (1) 地下階より起動があったときの1階への連動。
- (2) 各階より起動があったときのエレベータ、階段への連動。
- (3) エレベータ、階段より起動があったときの連動。

● 自動設定（標準）

「1 自動設定（標準）」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統を自動設定（標準）します。よろしいですか？
実行 確定キー
中止 その他キー

確定 キーを押すと、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統（標準） 自動設定中

しばらくお待ちください。

設定が完了すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統設定 処理番号？
1 **自動設定（標準）** 完了
2 自動設定（直上系統）
3 マニュアル設定

自動設定表（標準）

		出 火 階									
		地下5階	地下4階	地下3階	地下2階	地下1階	1階	2階	3階		
連 動 階	階段										○
	エレベータ										○
	4階								○		
	3階							○	○		
	2階						○	○			
	1階	○	○	○	○	○	○				
	地下1階	○	○	○	○	○	○				
	地下2階	○	○	○	○	○	○				
	地下3階	○	○	○	○	○	○				
	地下4階	○	○	○	○	○	○				
	地下5階	○	○	○	○	○	○				

○：出火系統 ○：連動系統

● 自動設定（直上系統）

「2 自動設定（直上系統）」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統を自動設定（直上系統）
します。よろしいですか？
実行 確定キー
中止 その他キー

確定 キーを押すと、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統（直上） 自動設定中

しばらくお待ちください。

設定が完了すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動系統設定 処理番号？
1 自動設定（標準）
2 **自動設定（直上系統）** 完了
3 マニュアル設定

自動設定表（直上系統）

		出 火 系 統										
		非常系統 1	非常系統 2	非常系統 3	非常系統 4	非常系統 5	非常系統 6	非常系統 7	非常系統 8		非常系統 329	非常系統 330
連 動 系 統	非常系統 330										○	◎
	非常系統 329										◎	
	非常系統 9								○			
	非常系統 8							○	◎			
	非常系統 7						○	◎				
	非常系統 6					○	◎					
	非常系統 5				○	◎						
	非常系統 4			○	◎							
	非常系統 3		○	◎								
	非常系統 2	○	◎									
	非常系統 1	◎										

◎：出火系統 ○：連動系統

※ 非常系統 330 には連動系統は設定されません。

● 手動設定

「3 マニュアル設定」を選択すると、液晶画面の表示が右のようになります。

連動システムを設定します。

連動システム設定	
出火システム	1
連動システム	0 0 2
登録数	0 0 1

設定項目

連動システム	出火システム（非常システム）に連動する非常システム（連動システム）を設定します。 連動システムは1つの出火システムについて、最大329まで登録できます。
--------	---

使用するキー

「選択」キー 「→」キー	次の連動システムに移ります。 連動システム 1 → 2 → 3 → 4 → → 330 → 1 → . . . 設定されている連動システムが表示されます。
「←」キー	前の連動システムに戻ります。 連動システム 1 ← 2 ← 3 ← 4 ← ← 330 ← 1 ← . . . 設定されている連動システムが表示されます。
「確定」キー	表示されている連動システムを登録し、次の連動システムに移ります。
「次画面」キー	次の出火システムに移ります。
「数字（0～9）」キー	連動システム番号を入力します。
「取消」キー	連動システムを入力したときは、その番号の取り消しを行います。 連動システムを入力していないときは登録済みの連動システムを削除します。
「メニュー」キー 「前画面」キー	「連動システム設定」メニューに戻ります。

業務放送設定

業務放送で使用する機器の優先、緊急、スピーカ回線の選択を設定します。

総合メニューの「3 業務書込」を選びます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

「3 業務書込」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

業務放送設定	処理番号？
1 選択SW	2 業務RM
3 予備制御	4 タイマ
5 優先設定	6 緊急制御

設定項目

1 選択SW	グループ選択スイッチと放送階選択スイッチの業務緊急放送の設定です。 放送階選択スイッチは「放送階選択スイッチ種別の設定」(P. 18) で「非常・業務」または「業務」と設定されたスイッチに限定されます。
2 業務RM	20局業務リモコンRM-1200のグループスイッチに対する業務緊急設定とグループ登録です。 環境設定の「リモコンの設定」(P. 20) で20局業務リモコン接続台数が「0」のときは、このメニューは選択できません。
3 予備制御	予備制御端子に割り当てられた業務リモコン(特)、電話ページング、BGMの業務緊急設定、およびグループ登録です。 環境設定の「予備制御端子の設定」(P. 21) ですべての端子が「無接続」に設定されているときは、このメニューは選択できません。
4 タイマ	タイマ1、2の緊急設定とグループ登録です。
5 優先設定	複数の機器が働いたときの放送階選択についての優先設定を行います。
6 緊急制御	緊急制御端子による接続スピーカ回線の設定を行います。

ご注意

業務緊急放送とはスピーカのアッテネータを無効にする放送で、緊急連絡用のスイッチのみに設定します。
ただし、緊急回路のリレーは5回線のグループごと(回線1～5、回線6～10…の5回線ごと)に共通ですので、緊急放送のスイッチを押せば緊急グループ以外であっても同一グループの5回線は、すべて緊急放送の状態となります。

■ 選択スイッチの設定

業務書込メニューの「1 選択 SW」を選びます。

「1 選択 SW」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

初期状態ではすべて「1 緊急設定なし」の状態になっています。

選択 SW 緊急設定
選択 SW 番号 グループ 1
1 緊急設定なし
2 緊急設定あり

ご注意

「1 緊急設定なし」ではスピーカのアッテネータが有効な放送に、「2 緊急設定あり」ではアッテネータが無効な放送に設定されます。

緊急設定できるスイッチ

- グループ選択スイッチ 1～5
- 放送階選択スイッチ（スイッチ種別が「非常・業務」または「業務」に設定されているスイッチ。）

■ 20局業務リモコン RM-1200 の設定

業務書込メニューの「2 業務RM」を選びます。

「2 業務RM」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

「1 グループ放送設定」または「2 緊急放送設定」を選択してください。

業務RM設定	処理番号？
1	グループ放送設定
2	緊急放送設定

なお、環境設定の「リモコンの設定」(P. 20) で20局業務リモコン接続台数が「0」のときは、このメニューは選択できません。

設定項目

1 グループ放送設定	20局業務リモコンRM-1200の一斉スイッチとグループスイッチA1～A0、B1～B0のグループ設定です。20局業務リモコンが複数台数設定されているときは、個々のリモコンごとに設定ができます。
2 緊急放送設定	業務リモコンの各スイッチごとに業務緊急放送の設定を行いません。

重 要

RM-1200の一斉スイッチは、必ず回線を登録してください。
回線を登録していない状態で一斉スイッチを操作すると、その後RM-1200の操作ができなくなります。

ご注意

業務緊急放送とはスピーカのアッテネータを無効にする放送で、緊急連絡用のスイッチのみに設定します。
ただし、緊急回路のリレーは5回線のグループごと(回線1～5、回線6～10…の5回線ごと)に共通ですので、緊急放送のスイッチを押せば緊急グループ以外であっても同一グループの5回線は、すべて緊急放送の状態となります。

● 20 局業務リモコン RM-1200 アドレスの設定

業務 RM 設定で「1 グループ放送設定」または「2 緊急放送設定」を選択すると、最初に液晶画面の表示が右のようになり、設定を行うリモコンのアドレスを設定する必要があります。

20 局業務 RM グループ放送設定
RM アドレス番号 **0** ?
設定アドレス 0 ~ 2

(右図は接続台数 3 台のときに、設定アドレスは 0、1、2 から選べることを示しています。)

設定項目

RM アドレス番号	グループ放送または緊急放送を設定する 20 局業務リモコン RM-1200 のアドレスです。 「環境設定」の「リモコン」の「20 局業務 RM 接続台数」で設定された台数のリモコンが設定の対象となります。アドレスは「0」から始まり、連続でなければなりません。 設定可能なアドレスは参考のため 3 行目に「設定アドレス」として表示されます。接続台数が 1 台のときは、RM アドレス番号 0、設定アドレス 0 ~ 0 となります。この場合は「確定」キーを押して次のメニューに進んでください。
-----------	--

使用するキー

「確定」、「次画面」キー	表示されているアドレスの「グループ放送設定」または、「緊急放送設定」メニューに移ります。
「数字 (0 ~ 7)」キー	設定を行う業務リモコンのアドレス番号を入力します。
「前画面」 「メニュー」キー	「業務 RM」メニューに移ります。



：**X**キー (RM アドレス番号)、**確定**キーを押します。

● 20 局業務リモコン RM-1200 グループ放送の設定

20 局業務リモコン RM-1200 のアドレスごとに回線選択スイッチで選択されるスピーカ回線を設定します。

20 局業務リモコン RM-1200 のアドレスを設定します。

20 局業務 RM グループ放送設定
RM アドレス番号 0
設定アドレス 0 ～ 7

回線選択スイッチで選択されるスピーカ回線を設定します。

20 局業務 RM グループ放送設定
RM アドレス 0 一斉放送 SW
S P 回線番号 0 0 1
登録数 0 0 1

スピーカ回線を設定するスイッチ

- 一斉選択スイッチ
- グループ選択スイッチ A1 ～ A0、B1 ～ B0

重 要

RM-1200 の一斉スイッチは、必ず回線を登録してください。

回線を登録していない状態で一斉スイッチを操作すると、その後 RM-1200 の操作ができなくなります。

● 20 局業務リモコン RM-1200 緊急放送の設定

20 局業務リモコン RM-1200 のアドレスごとに回線選択スイッチを緊急放送設定します。

20 局業務リモコン RM-1200 のアドレスを設定します。

20 局業務 RM 緊急放送設定
RM アドレス番号 0
設定アドレス 0 ～ 7

回線選択スイッチを緊急放送設定します。

20 局業務 RM 緊急放送設定
RM アドレス 0 一斉放送 SW
1 緊急設定なし
2 緊急設定あり

緊急放送設定するスイッチ

- 一斉選択スイッチ
- グループ選択スイッチ A1 ～ A0、B1 ～ B0

■ 予備制御設定

業務書込メニューの「3 予備制御」を選びます。

「3 予備制御」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

予備制御端子に接続する機器（業務リモコン（特）、電話ページング、BGM）のグループ放送、緊急放送、およびチャイム連動の設定を行います。

予備制御設定 処理番号？
1 **グループ放送設定**
2 緊急放送設定
3 チャイム連動設定

ご注意

環境設定の「4 予備制御」で「無接続」と設定されたときは、このメニューは表示されません。（P.21）

設定項目

1 グループ放送設定	10局業務リモコン RM-1100 の一斉スイッチとグループスイッチ 1～10 のグループ設定です。
2 緊急放送設定	業務リモコンの各スイッチごとに業務緊急放送の設定を行います。
3 チャイム連動設定	「予備制御端子設定」で「電話ページング」が選択されている予備制御端子がある場合に、電話ページング開始時に 4 音チャイムなどを鳴らすための設定を行います。

※ ここでの「1 グループ放送設定」と「2 緊急放送設定」は、10局業務リモコン RM-1100 を予備制御端子に接続し、「予備制御端子設定」で「業務リモコン（特）」が選択されているときの設定例です。

● グループ放送の設定

「1 グループ放送設定」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

回線選択スイッチで選択されるスピーカ回線を設定します。

予備制御グループ放送設定
予備制御 1 業務 RM
S P 回線番号 **001**
登録数 001

スピーカ回線を設定するスイッチ

- 一斉選択スイッチ
- グループ選択スイッチ 1～10

● 緊急放送の設定

「2 緊急放送設定」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

回線選択スイッチを緊急放送設定します。

予備制御緊急放送設定
予備制御 1 業務 RM
1 **緊急設定なし**
2 緊急設定あり

緊急放送設定するスイッチ

- 一斉選択スイッチ
- グループ選択スイッチ 1～10

● チャイム連動の設定

「3 チャイム連動設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

※ 電話ページング開始時に4音チャイムなどを鳴らすには、「2 チャイム起動あり」に設定します。

チャイム連動設定
1 チャイム起動なし
2 チャイム起動あり

■ ご注意

ページング開始時にチャイムを鳴らすためには、放送設備本体の構成機器にプリアンプパネル PP-025C、あるいはメロディクスなどが必要です。

■ タイマ設定

業務書込メニューの「4 タイマ」を選びます。

「4 タイマ」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

タイマ1、タイマ2のグループ放送、または緊急放送の設定を行います。

タイマ設定	処理番号？
1 グループ放送設定	
2 緊急放送設定	

● グループ放送の設定

「1 グループ放送設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

※ 設定方法は「20局業務リモコン RM-1200 グループ放送の設定」と同様です。(P. 37)

タイマ1が完了するとタイマ2の設定に移ります。

タイマグループ放送設定
タイマ1
S P 回線番号 0 0 1
登録数 0 0 1

● 緊急放送の設定

「2 緊急放送設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

※ 設定方法は「20局業務リモコン RM-1200 緊急放送の設定」と同様です。(P. 37)

タイマ1が完了するとタイマ2の設定に移ります。

タイマ緊急放送設定
タイマ1
1 緊急設定なし
2 緊急設定あり

■ 優先設定

複数の機器から同時に業務放送を行った場合に、どの機器からの放送が優先されるかを設定します。

● 優先有無の設定

業務書込メニューの「5 優先設定」を選びます。

「5 優先設定」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

業務放送優先設定
1 優先なし
2 優先あり

優先のあり、なしを設定してください。

「1 優先なし」を設定すると、業務放送のメニューに戻ります。

「2 優先あり」を設定すると、次に進みます。

「2 優先あり」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

業務放送優先設定 処理番号？
1 優先レベル設定
2 同一レベル内優先モード設定

処理番号を選択してください。

設定項目

1 優先レベル設定	業務放送する機器の優先レベルの設定です。優先レベルは優先順位によりレベル1からレベル6まで6段階あり、割り込み放送が可能になります。 優先度：レベル1＞レベル2＞レベル3＞レベル4＞レベル5＞レベル6
2 同一レベル内 優先モード設定	同一優先レベル内に設定された機器間の優先モードの設定です。 優先モードには以下の4つのモードがあります。 <ul style="list-style-type: none">・優先なし ：同一優先レベルの機器間に優先はなく、すべての機器からの業務放送が同時に行えます。・後押し優先 ：後から業務放送を開始した機器からの放送が優先します。・先押し優先 ：先に放送を開始した機器からの業務放送が優先します。 その機器の放送が終了するまで他の機器からの放送はできません。・個別優先 ：1つの優先レベルに設定された機器が20局業務リモコンRM-1200だけのときに設定できるモードです。 アドレスの小さい20局業務リモコンの放送が優先します。 <div>ご注意</div> 入力マトリックスパネルIM-011が接続されている多元放送システムの場合、「優先なし」は「後押し優先」として扱われます。

● 優先レベルの設定

「1 優先レベル設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

優先レベルを設定してください。

業務放送優先レベル設定
タイマ
優先度 **1**
高 1 ~ 6 低

優先レベルが設定できる機器

- タイマ
- 本体
- 非常業務兼用遠隔操作器
- 20局業務リモコン RM-1200
- 予備制御（業務リモコン＜特＞）
- 予備制御（電話ページング）
- 予備制御（BGM）

設定後は、次の機器の優先設定に移ります。

ご注意

本体のグループ選択スイッチまたは放送階選択スイッチによる BGM 放送の優先レベルは、予備制御（BGM）で設定したレベルとなります。

● 同一レベル内優先モードの設定

「2 同一レベル内優先モード設定」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

優先レベルは、同一レベルに複数の機器が設定されたレベルのみ表示されます。

優先モードを設定してください。

業務放送優先モード設定
優先レベル 1 優先モード
1 **後押し優先** 2 先押し優先
3 個別優先 4 優先なし

ご注意


- この優先設定は、スピーカ回線選択の優先機能です。
- 放送信号の優先は、外部機器での制御が必要となります。

■ 緊急制御設定

緊急制御端子がメイクされたときに、選択するスピーカ回線を設定します。

業務書込メニューの「6 緊急制御」を選びます。

「6 緊急制御」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

※ 設定方法は「20局業務リモコン RM-1200 グループ放送の設定」と同様です。（ P. 37）

緊急制御グループ放送設定
緊急制御（緊急音声入力）
SP回線番号 **001**
登録数 001

データ転送

通信処理

● 通信メニュー

総合メニューの「4 データ転送」を選びます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

「4 データ転送」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

データ転送処理	処理番号？
1 通信	
2 カード	

データ転送処理の「1 通信」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

通信処理	処理番号？
1 受信（パソコン→ラック）	
2 送信（ラック→パソコン）	

処理番号を選択してください。

1 受信（パソコン→ラック）	パソコンで設定したデータを RS-232C 端子から本体に転送します。 別途設定ソフトが必要です。 記憶していたデータは、受信の後にすべて更新されます。
2 送信（ラック→パソコン）	本体で設定したデータを RS-232C 端子からパソコンへ転送します。 別途設定ソフトが必要です。

● 受信

「1 受信（パソコン→ラック）」に入ると、液晶画面の表示が右のようになり、受信状態になります。

5 秒以内にパソコンからデータの送信を行ってください。

通信処理
受信中です。

正常に受信が完了すると、液晶画面の表示が右のようになります。

確定 キーを押すと、通信メニューに戻ります。

通信処理
受信完了しました。 確定キーを押してください。

受信中に通信エラーが発生すると、液晶画面の表示が右のようになります。

確定 キーを押すと、通信メニューに戻ります。

通信処理
通信エラーです。 確定キーを押してください。

接続ケーブルなどを確認してください。

● 送信

「2 送信（ラック→パソコン）」に入ると、液晶画面の表示が右のようになり、送信状態になります。

パソコンを受信状態にした後に、送信を行ってください。

正常に送信が完了すると液晶画面の表示が右のようになります。

確定 キーを押すと、通信メニューに戻ります。

送信中に通信エラーが発生すると、液晶画面の表示が右のようになります。（受信異常と同じ）

通信処理

送信中です。

通信処理

送信完了しました。
確定キーを押してください。

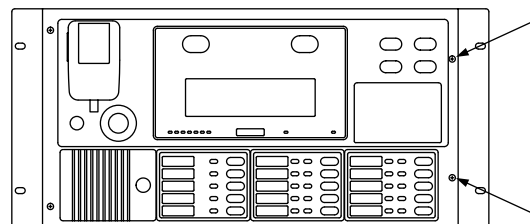
通信処理

通信エラーです。
確定キーを押してください。

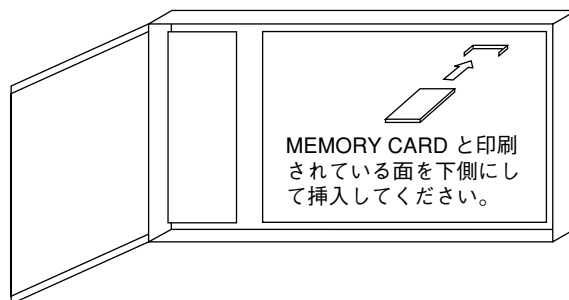
■ カード処理

● カードの挿入方法

- EP-0510 のねじ 2 本（矢印）を外して前面パネルを開きます。
- メモリーカードを、向きに注意して挿入します。
メモリーカードは、PCMCIA の SRAM カード（256 K～2 MB）を使用してください。



- カードを挿入した状態では前面パネルが閉まりません。
前面パネルを開いた状態で次の作業に移ります。



● カードメニュー

データ転送処理の「2 カード」を選びます。

データ転送処理 処理番号？
1 通信
2 **カード**

「2 カード」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

カード処理 処理番号？
1 **読込（カード→ラック）**
2 書込（ラック→カード）

処理番号を選択してください。

1 読込（カード→ラック）	メモリーカードのデータを本体に転送します。 本体で設定したデータをメモリーカードに保存し、再度読み込むことができます。 パソコンで設定したデータをメモリーカードで本体に転送できます。 （別途設定ソフトが必要です。） 記憶していたデータは、読み込みの後にすべて更新されます。
2 書込（ラック→カード）	本体で設定したデータをメモリーカードへ転送します。 メモリーカードに本体で設定したデータの保存ができます。

● 読み込み処理

「1 読込（カード→ラック）」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

処理番号を選択してください。

「1 読込開始」を選択すると、読み込みを開始します。

「2 取消」を選択すると、カードメニューに戻ります。

読み込みが完了すると、液晶画面の表示が右のようになります。

確定 キーを押すと、カードメニューに戻ります。

読み込み中に異常が発生した場合は、読み込み異常画面が表示されます。

確定 キーを押すと、カードメニューに戻ります。

メモリーカードの取り付けを確認してください。

カード読込処理 処理番号？

1 **読込開始**

2 取消

カード読込処理

読込完了しました。
確定キーを押してください。

カード読込処理

カード読込エラーです。
確定キーを押してください。

● 書き込み処理

「2 書込（ラック→カード）」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

処理番号を選択してください。

「1 書込開始」を選択すると、カードの有無を確認し、正しいカードであれば書き込みを開始します。

「2 取消」を選択すると、カードメニューに戻ります。

書き込みが完了すると、液晶画面の表示が右のようになります。

確定 キーを押すと、カードメニューに戻ります

書き込み中に異常が発生した場合は、書き込み異常画面が表示されます。

確定 キーを押すと、カードメニューに戻ります。

メモリーカードの取り付けを確認してください。

カード書込処理 処理番号？

1 **書込開始**

2 取消

カード書込処理

書込完了しました。
確定キーを押してください。

カード書込処理

カード書込エラーです。
確定キーを押してください。

ご注意

次のような時は「カード異常」の表示がでます。

- メモリーカードなしで読み込みを始めたとき。
- メモリーカードの電池が消耗しているとき。
- メモリーカードがライトプロテクト（書込禁止）の状態で書き込みを始めたとき。

動作履歴

総合メニューの「5 動作履歴」を選びます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

「5 動作履歴」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

動作履歴	処理番号？
1 履歴保存	2 履歴確認
3 履歴読出	4 履歴消去
5 時刻設定	6 通信出力

設定項目

1 履歴保存	動作の履歴を機器内部に記憶させる設定です。
2 履歴確認	機器内部に記憶されている動作履歴を本体の液晶表示で確認します。
3 履歴読出	機器内部に記憶されている動作履歴を読み出し、メモリーカードへ転送、あるいはRS-232C端子よりパソコン（別途、設定ソフトが必要です。）へ転送します。
4 履歴消去	機器内部に記憶されている動作履歴を消去します。
5 時刻設定	時刻を合わせます。
6 通信出力	動作状態をRS-232C端子よりパソコンへ出力するための設定です。

履歴保存

動作の履歴を機器内部に記憶させるか、させないかを設定します。

動作履歴メニューの「1 履歴保存」を選びます。

「1 履歴保存」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

「1 保存する」が選択された場合は、動作内容を順（時刻順）に機器内部に記憶していきます。
「2 保存しない」が選択された場合は、動作履歴メニューに戻り、以降の設定の必要はありません。

履歴保存
1 保存する
2 保存しない

履歴確認

動作履歴メニューの「2 履歴確認」を選びます。

「2 履歴確認」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

履歴確認画面が表示され、画面上で動作履歴を確認できます。

履歴確認
970324 114325 F i 0000000100
970324 114325 J d
970324 114325 A e

動作が記憶されていない場合は、無記録画面が表示されます。
履歴確認はできません。

履歴確認
動作履歴は記録されていません。 確定キーを押してください。

■ 履歴読み出し

履歴読み出しは、機器内部に記憶されている動作履歴を読み出し、「メモリーカード」へ転送する方法と、RS-232Cによる「通信」でパソコン（別途、設定ソフトが必要です。）へ転送する方法とがあります。

● カード

メモリーカードを本体（非常業務兼用操作パネルEP-0510）に取り付けて、本体からメモリーカードへ動作履歴を書き込みます。

動作履歴メニューの「3 履歴読出」を選びます。

「3 履歴読出」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

履歴読出画面が表示され、「1 カード」を選択します。

履歴読出

1 **カード**

2 通信


メモリーカードへの動作履歴書き込みが完了すると、書込完了画面が表示されます。

履歴書込処理

書込完了しました。
確定キーを押してください。

書き込み中に異常が発生すれば、異常発生画面が表示されます。

■ ご注意

メモリーカードの選択と本体への取付方法は、「カードの取り付け方法」（ P. 44）をお読みください。

履歴書込処理

カード書込エラーです。
確定キーを押してください。

● 通信

本体とパソコンをRS-232Cで接続して、動作履歴をパソコンへ転送します。

動作履歴メニューの「3 履歴読出」を選びます。

履歴読出画面が表示され、「2 通信」を選択します。

履歴読出

1 カード

2 **通信**

動作履歴の転送中は、履歴送信中画面が表示されます。

履歴送信処理

送信中です。

転送が終了すると、転送終了画面が表示されます。

履歴送信処理

送信完了しました。
確定キーを押してください。

転送中に異常が発生すれば、異常発生画面が表示されます。

履歴送信処理

通信エラーです。
確定キーを押してください。

■ 履歴消去

本体内部に記憶されている動作履歴を消去します。

動作履歴メニューの「4 履歴消去」を選びます。

履歴消去画面が表示され、**確定** キーを押すと動作履歴が消去されます。

動作履歴を消去します。よろしいですか？

実行 確定キー
中止 その他キー

動作履歴が記録されていない場合は、履歴なし画面が表示されます。

履歴消去

動作履歴は記録されていません。
確定キーを押してください。

■ 時刻設定

動作履歴として記録される操作などが発生した場合に、その内容と発生時刻が記録されます。そのために、本体内部の時計の現在時刻の設定をします。

動作履歴メニューの「5 時刻設定」を選びます。

時刻設定画面が表示されます。

時刻設定 96/07/15 13:00:00
9 6 年 0 7 月 1 5 日
1 3 時 0 0 分

この画面の操作は、「数字」キーが操作されるたびに、数値の入力箇所が一つずつ右へ移動します。

たとえば、「日」の一の位を入力した次は、「時」の十の位の入力になります。

また、矢印キー「←」「→」によって数値入力をする箇所（桁）を移動できます。

■ ご注意

「年」は西暦の下2桁を入力してください。西暦の下2桁以外を入力すると、うるう年の計算が正しく行われません。

■ 通信出力

各機器での操作に同期して、その動作内容を RS-232C 端子よりパソコンへ出力するための設定をします。

動作履歴メニューの「6 通信出力」を選びます。

履歴出力画面が表示されます。

履歴出力

1 **出力する**
2 出力しない

この設定をする場合は、「1 出力する」を選択します。
設定をしない場合は、「2 出力しない」を選択します。

■ ご注意

動作履歴や動作内容を RS-232C 端子よりパソコンへ出力するときには、別途設定ソフトが必要です。

終了処理

総合メニューの「6 終了」を選びます。

総合メニュー	処理番号？
1 環境設定	2 非常書込
3 業務書込	4 データ転送
5 動作履歴	6 終了

「6 終了」に入ると、液晶画面の表示が右ようになります。

書込終了処理	処理番号？
1 データ保存	
2 データ初期化	

「1 データ保存」を選択すると、液晶画面の表示が右ようになります。

データ保存
設定データを登録中です。
しばらくお待ちください。

設定項目

1 データ保存	書き込みした内容が保存できます。
2 データ初期化	書き込みした内容を消去し、初期状態に戻します。 (製品出荷時の設定に戻る。 P. 11)

ご注意

データ保存をしないで動作選択スイッチを「通常」に戻すと、動作選択スイッチを「書込」に戻すように警告が表示されます。

パスワード登録

「1 データ保存」でデータ保存が完了すると、液晶画面の表示が右ようになります。

パスワードを設定しますか？
1 設定する
2 設定しない

「1 設定する」または「2 設定しない」を選択してください。

設定項目

パスワード	書き込みした内容の保護のために使用します。 パスワード登録を行うと、動作選択スイッチを「書き込み」にしたとき、正しいパスワードが入力されなければ、「書き込み」設定には移りません。これにより管理者以外の方によるデータ修正を防ぐことができます。
-------	---

ご注意

書き込んだ内容はメモリーカードに書き込むか、あるいは設定表 (P. 54 ~ P. 58) に記録しておいてください。何かの事故でデータが失われたとき、再書き込みに大変な手数を要します。

● パスワード登録をする場合

[新規にパスワード登録をするとき]

パスワード設定確認画面の「1 設定する」を選びます。

「1 設定する」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

パスワード入力*を行ってください。

* パスワードは、0～9までの5桁の数字で入力してください。

パスワード入力が終わると、入力したパスワードの確認画面が表示されます。

パスワードをもう一度入力してください。

パスワードを入力してください。

パスワード？

パスワードをもう一度入力してください。

パスワード？

誤ったパスワードが入力されると、入力不正画面が表示されます。

パスワード入力

パスワードが違います。

確定キーを押してください。

パスワードが正しく入力されると、動作選択スイッチの切り換え指示が表示されます。

動作選択スイッチを

【通常】にしてください。

[すでにパスワード登録をしているとき]

パスワード設定確認画面の「1 設定する」を選びます。

「1 設定する」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

変更の有無の確認が表示されます。

パスワードを変更しますか？

1 **変更する**

2 変更しない

「1 変更する」を選択すると、以後の液晶画面表示は新規にパスワードを登録するときと同じです。

「2 変更しない」を選択すると、動作選択スイッチの切り換え指示が表示されます。

動作選択スイッチを

【通常】にしてください。

● パスワード登録をしない場合

パスワード設定確認画面の「2 設定しない」を選びます。

「2 設定しない」に入ると、液晶画面の表示が右のようになります。

動作選択スイッチの切り換え指示が表示されます。

動作選択スイッチを

【通常】にしてください。

設定表

■ 設定表の種類と記入事項

設定表の種類	記入事項
選択スイッチ設定表 (P. 54、P. 55)	<ul style="list-style-type: none"> ・放送階選択スイッチのスイッチ種別（非常・業務・BGM） ・放送階選択スイッチのスピーカ回線設定 ・放送階選択スイッチの非常系統設定 ・放送階選択スイッチの緊急設定 ・スイッチ種別が「BGM」のスイッチの音声入力番号 ・スピーカ回線の音声出力番号（5回線ごと）
階別信号設定表（ P. 56）	<ul style="list-style-type: none"> ・自火報端子の非常系統設定 ・自火報端子の階メッセージ設定
連動系統設定表（ P. 56）	<ul style="list-style-type: none"> ・自火報端子がメイクされた非常系統（出火系統）に連動して選択される非常系統（連動系統）の設定
業務リモコン設定表（ P. 57）	<ul style="list-style-type: none"> ・業務リモコンRM-1200のアドレス設定 ・業務リモコンRM-1200の緊急放送設定 ・一斉スイッチとグループスイッチのスピーカ回線設定 ・接続した業務リモコンRM-1200の音声入力番号の設定 ・スピーカ回線の音声出力番号（5回線ごと）
制御端子設定表（ P. 58）	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマ端子（タイマ1、2）の緊急放送設定 ・タイマ端子（タイマ1、2）のグループ放送設定 ・緊急制御端子のグループ放送設定 ・予備制御端子の用途設定 ・予備制御端子のグループ放送設定 ・予備制御端子の緊急放送設定 ・電話ページングのチャイム連動設定 ・各端子の音声入力番号 ・スピーカ回線の音声出力番号（5回線ごと）
業務優先・プリアンプ設定表 (P. 58)	<ul style="list-style-type: none"> ・各機器のプリアンプ設定 ・各機器の優先レベルと優先方法の設定

※ 各設定表は、コピーしてご使用ください。

■ 設定表の記入方法

● 選択スイッチ設定表 (P. 54、P. 55)

選択スイッチ設定表		用途		業務緊急 BGM	音声入力番号	非常系統 (0 - 330)	回線番号			
スイッチ番号	スイッチ名称	非常	業務				音声出力番号	1	2	3
一斉		○	○							
G1										
G2										
G3										
G4										
G5										
個()										
個()										
個()										

接続されている音声出力番号を記入してください。
(IM-011 接続時)

選択する回線に○印を記入してください。

各選択スイッチに設定する非常系統を記入してください。
(用途が「非常・業務」または「非常」に設定されているスイッチ)

選択する用途・設定により、○印を記入してください。

用途を「BGM」に設定するスイッチについて、各スイッチ作動時に音声が入力される音声入力番号を記入してください。(IM-011 接続時)

● 階別信号設定表 (P. 56)

階別信号設定表		非常系統 (0 - 330)		階情報 (1 - 331)	
EL番号	階別信号名称	系統番号	非常系統名称	階メッセージ番号	階情報

階別信号を記入してください。

各階別信号に設定する非常系統を記入してください。

各階別信号に設定する階情報を記入してください。

● 連動系統設定表 (P. 56)

連動系統設定表		出火系統		連動系統	
系統番号	系統名称	系統番号	系統名称	系統番号	系統名称

出火系統に連動する非常系統を記入してください。

選択する連動系統に○印を記入してください。

出火系統（自火報がメイクされた非常系統）を記入してください。

● 業務リモコン設定表 (P. 57)

接続されている音声出力番号を記入してください。(IM-011 接続時)

業務リモコン設定表		回線番号	音声出力番号	回線名称	選択回線数
スイッチ名称					
リモコン名称 ()		アドレス番号 ()		音声入力番号 ()	
一斉					
A1					
A2					
A3					
A4					

緊急を設定する場合に○印を記入してください。

選択する回線に○印を記入してください。

● 制御端子設定表 (P. 58)

制御端子設定表		用途	音声入力番号	回線番号	音声出力番号	回線名称	選択回線数
緊急		電話ページング					
タ1		チャイム連動 (○)					
タ2							
予1							
予2							
予3							

電話ページング開始時のチャイム連動を設定する場合は、() 内に○印を記入してください。

各端子起動時に音声が入力される音声入力番号を記入してください。(IM-011 接続時)

選択する回線に○印を記入してください。

選択する用途・設定により、○印を記入してください。

● 業務優先・プリアンプ設定表 (P. 58)

業務優先・プリアンプ設定表	優先度 1				優先度 2				優先度 6				プリアンプ設定	
	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	カットなし	3・3カット
優先方法														
本体														
非常リモコン														
タイマ 1、2														
緊急制御														
業務リモコン RM-1200														
予備制御 業務リモコン														
予備制御 電話ページング														
予備制御 BGM														

設定する優先方法に○印を記入してください。

選択するプリアンプ入力カット方法に○印を記入してください。

選択する優先レベルに○印を記入してください。

[illegible]

55

(/)

[illegible]

(/)

[illegible]

業務リモコン設定表		業務緊急		回線番号															
		回線番号	音声出力番号	回線番号															
スイッチ名称		回線名称	選択回線数																
リモコン名称 () アドレス番号 () 音声入力番号 ()																			
一斉																			
A1																			
A2																			
A3																			
A4																			
A5																			
A6																			
A7																			
A8																			
A9																			
A0																			
B1																			
B2																			
B3																			
B4																			
B5																			
B6																			
B7																			
B8																			
B9																			
B0																			
リモコン名称 () アドレス番号 () 音声入力番号 ()																			
一斉																			
A1																			
A2																			
A3																			
A4																			
A5																			
A6																			
A7																			
A8																			
A9																			
A0																			
B1																			
B2																			
B3																			
B4																			
B5																			
B6																			
B7																			
B8																			
B9																			
B0																			

(/)

制御端子設定表		用 途			業務緊急	音声入力番号	回線番号																	
		業務リモコン	電話	BGM			音声出力番号																	
			ページング																					
			チャイム連動 ()					回線名称																
端子名称						選択回線数																		
緊急				○																				
タ1																								
タ2																								
予1																								
予2																								
予3																								
予4																								
予5																								
予6																								
予7																								
予8																								
予9																								
予10																								
予11																								
予12																								
予13																								
予14																								
予15																								

業務優先・プリアンプ 設定表	業務優先設定																								プリアンプ 設定		
	優先度 1				優先度 2				優先度 3				優先度 4				優先度 5				優先度 6						
	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	なし	後押し優先	先押し優先	個別優先	カットなし	3カット	2・3カット
優先方法																											
本体																											
非常リモコン																											
タイマ 1、2																											
緊急制御																											
業務リモコン RM-1200																											
予備制御 業務リモコン																											
予備制御 電話ページング																											
予備制御 BGM																											



TOA インフォメーションセンター	フリーダイヤル（無料電話） TEL. 0120 - 108 - 117
商品や技術など、お問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ～ 17:00（日曜・祝日除く）	〒665-0043 宝塚市高松町2番1号 TEL. (0797) 72-7567 FAX. (0797) 72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。